

北海道大学総合博物館主催

土曜市民セミナー

道民カレッジ連携講座

# 深海魚場開発調査で得られた魚類

～インドネシア沖インド洋～

講師 河合 俊郎 北海道大学総合博物館 助教

## －概要－

2004年と2005年に、インドネシアのスマトラ島沖からジャワ島沖にかけてのインド洋の水深200mから1,000mで、日本とインドネシアが深海魚場開発調査を行いました。この調査では魚類約450種、甲殻類約50種、頭足類約40種が採集されました。採集された標本の内、約2,000点の魚類標本が北海道大学総合博物館に保管されています。

本セミナーではこの深海魚場開発調査の概要と、調査で採集された魚類を紹介します。また、この調査で得られた魚類標本の中には多くの新種と思われる標本が入っていました。これらの標本を用いた分類学的研究についても紹介します。



触れて、見て、知る!

2015年 10月10日(土) 13:30～

北海道大学人文・社会科学総合研究棟1階 6番教室

入場無料 | 申込不要 | 座席数156席

\* 定員を超えますと、立ち見となる場合がございます。

本講演では、貴重な標本に直接触れる体験ができます。是非、この機会に深海の生物に触ってみましょう!

お問い合わせ

北海道大学総合博物館



THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

TEL:011-706-2658

<http://www.museum.hokudai.ac.jp>



©2015 Kawana Momoko